

グループホーム アカシヤの家

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473601100	事業の開始年月日	平成18年2月1日
		指定年月日	平成18年2月1日
法人名	株式会社 カスタムメディカル研究所		
事業所名	グループホーム アカシヤの家		
所在地	(245-0003) 横浜市泉区岡津町2901-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成22年2月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年12月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://center.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな環境に囲まれ、森林ボランティアさんの御協力も頂いて四季折々の庭を楽しんで頂けます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成22年2月18日	評価機関 評価決定日	平成22年5月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

◆事業所の周りには、事業所の名称のとおり「アカシヤの花」を配置し、また事業所内は、玄関や居間、洗面所などに花をたくさん飾り、壁面には手作りの季節の装飾をするなど、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。
 ◆利用者とのコミュニケーションを十分に図り、利用者一人ひとりの思いを引き出しながら、その思いをケアに結びつけ、理念にある「その人らしい生活」の実現に向けて取り組んでいる。
 ◆自治会に加入し、ゴミ当番や町内清掃、どんど焼きなどの行事や町内の高齢者等の集まりである岡津サロンなどに参加している。また、事業所の行事に地域の方々に参加してもらえるよう、道路に面した掲示板に行事の案内を貼り出している。
 ◆ユニット間で職員の交流を図ったり、合同の会議を開催しお互いのユニットの良い点を学びあいながらと、ユニット間の連携を取り合いながらより良いサービスの提供につなげている。
 ◆サービス提供上で気をつけたいことを「ホームの5S」「魔の7D」「ハッピーのそ」として掲示して、日頃から職員への注意を促しサービスの質の向上に努めている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

グループホーム アカシヤの家

事業所名	グループホーム アカシヤの家
ユニット名	ひなげし

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念は玄関入口に掲示し、朝礼等にて職員間で話し合い実践につながるように努めています	家庭に近い生活ができることを大切に、本人の思いや意向の把握に努めて、朝礼やカンファレンスで話し合い、実践につなげている。誕生会の食事について、利用者の意向をじっくりと聞き出し、急きょ献立を変更するなどしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、ゴミ当番、町内清掃、どんど焼き等に参加し、事業所による納涼祭や餅つきに地域の方に参加して頂いている。地域からボランティアを受け入れをして地域の一員として交流している	自治会に加入し、ゴミ当番や町内清掃、行事などに参加している。道路に面した掲示板に行事案内を貼り、地域の方に納涼会や餅つきに参加してもらっている。今後、地域の高齢の方に気軽に事業所に来てもらえるようにしていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の行事等に参加して頂いたりしている時に認知症のお話をさせて頂いている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	3カ月に一度運営推進委員会を開催し、利用者様への取り組み状況についての報告や話し合いを行い、サービスの向上に活かしている	3カ月ごとに開催し、地域の行事の情報を得て、利用者が参加している。災害時の支援の申出があったが、事業所内の状況がわからないという意見があり、今後地域の方に事業所を理解してもらう取り組みを行いたいと考えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市のグループホーム協議会に加入し、日頃から連絡を密に取り、ケアサービスの取組みを積極的に行っている	事業所に空き室がある場合は、市に伝えている。また、市健康福祉局や区福祉保健センターなどより、インフルエンザやノロウィルスなどの情報提供を受けている。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての研修を行い、玄関の施錠を含めて、身体拘束を行わない取り組みを行っている	身体拘束理解のための研修を行い、夜間の転倒防止にはサイドレールをせずベッド下にマットを敷き対応する、日中は玄関の施錠をせず外出の気配がある場合は、職員は見守りで対応するなど、身体拘束を行わないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止の研修を行い、職員へ理解を深め、虐待が見過ごされることがないように努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度等についての研修を持ち、個々の必要性を関係者と話し合っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関しては、重要事項説明書等、口頭で説明し御利用者様の不安や疑問をお聞きし、できる事とできない事の説明をさせて頂いています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入口の目につく場所に苦情相談窓口の説明を掲示し、「言いたい放題BOX」を設置している	玄関に「言いたい放題BOX」を設置する、月1回、家族への状況報告や請求書の送付の際に、返信用封筒を入れて意見を伺うなど、家族等が意見を出しやすいよう工夫をしている。家族の意見をもとに、話し合い、レクリエーションの実施につながったこともある。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼やカンファレンスにより職員の意見や提案を取り入れケアに活かしている	職員、管理者、本社の職員による三者面談や朝礼などを通して、意見を聴いている。職員からレクリエーションをさらに工夫していきたいという意見を受けて、研修に参加してもらったり、喫煙所について意見があり、場所を変えるなどしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談を管理者、本社の関係者を持ち職員のやりがい等を聞き、職場環境条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりの力量を把握し、法人内外の研修に参加したり、介護福祉士の有資格者よりアドバイスが行えるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	交換研修を通じて交流できる機会を持ち、サービスの質の向上に活かしている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時、本人が困っていること不安なことに耳を傾け、本人の安心を確保できるように努めています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時、十分な時間を取り要望等お聞きしたり、こまめに御家族に連絡したりしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人や家族等が入居時、必要としている支援の優先順位を話し合い、本人、家族の了承を得て、対応するように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	職員は利用者様にできる事はやって頂いたり、協力し合い生活できるように努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	御家族の面会の時は利用者様とゆっくり食事をして頂いたり、お茶を飲んで頂きながらコミュニケーションをとれるように努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御本人がこれまで大切にしてきた場所及び物との関係が途切れないように家族と共に支援に努めています	可能な限り利用者の希望に沿うように支援しており、友人との手紙のやり取りができたり、友人が遊びに来た時は居室や共有の和室で、本人と過ごしてもらえよう配慮している。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様間関係を把握し、一人ひとりが孤立しないよう話を聞いたり、トラブル時は介入したりして支援に努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用者様のサービス利用が終了しても、ボランティアなどに来所して頂き、これまでの関係性を大切にしていきます		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望・意向について耳を傾けたり、カンファレンスによって意向の把握に努めています	言葉がけを丁寧に行い、思いや意向を引き出すようにしている。表出できない方には、家族から今までの状況を聴き、職員間で共有の上検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントシートの利用により、御家族より情報を頂いたり、面会時にお話を聞いています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個人記録等により、現状の把握に努めています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日々の朝礼にて利用者様の状態を把握し、御家族来所時には現在の状態を説明し、意見を頂いたり月1回のカンファレンスにて見直したりしています	事前に家族から「介護計画の意見書」を提出してもらい、策定の会議にも参加してもらっている。また、職員は日頃から気づいた点を記録し、本人、家族、医師、看護師等の意見をもとに、介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のケアの実践等を個人記録に記入し、申し送り事項を朝礼で情報共有しながら、日々の実践につながるよう努めています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族の状況とその時々々のニーズに対応して外出レクリエーション等のサービスの多機能に取り組んでいます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域への参加を欠かさず週1回のボランティアさん受け入れ等により本人の能力を発見し、地域の協力と理解を得られるよう努めています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人、御家族の希望を大切にし、かかりつけ医への受診・往診にて適切な医療が受けられるよう支援しています	入居時に希望する医療機関を確認し、これまでのかかりつけ医を受診する利用者もいる。家族の付き添いが原則だが、必要に応じて職員が同行し、状態を説明したり、電話で連絡をとっている。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護師の来所時に朝礼等で情報の共有をしたり、24時間緊急時は連絡がとれるようになっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入退院時は、病院関係者と御家族と共に情報交換に努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	定期的な往診から重度化した時のあり方について、本人・家族・医療関係者と共に持ち、事業所でできる事を説明し、地域と共に支援できるように努めています	「重度化に向けた指針」を策定し、職員間で話し合い共有し、入居時に家族に説明して同意を得ている。重度化が進んだり、変化があった時は、家族、医師、看護師、職員等と話し合い対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	利用者様の急変や事故発生時に備え、ホーム内外の研修に参加し、実践に努めるようにしています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防災訓練を定期的に行い、利用者様が昼夜を問わず避難できる方法を身につけ、地域の防災訓練にも利用者様と共に参加し地域の協力体制を築いている	年1回消防署の協力を得て防災訓練を行い、その他に地域の防災訓練に年1回参加し、消火器の扱い、寝たきりの人の搬送法等を学んでいる。水、乾パン、氷砂糖等の備蓄が3日分ある。また、運営推進会議で災害時の協力体制について話し合っている。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	相手を尊重する言葉がけに努めています	接遇、虐待の研修を行い、尊厳を保つケアを心がけている。上から物を決めつけて言わないよう朝礼等で注意しあっている。プライバシーに配慮し、トイレのドアの内側にカーテンをかけたたり、居室のドアを閉めることを嫌がる方には、カーテンをかけるなどの工夫をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定できるように選択できるように声かけ等で工夫しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの意向やその時の気持ちを優先して過ごして頂けるように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	2ヶ月に一度理美容の方に来所して頂いたり、外の理容室を利用して頂いたりしています 地域のボランティアさんによるネイルアートなども利用されています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の下ごしらえ、盛り付け、配下膳など、利用者様と共にできるように努めています	献立は、利用者の希望により変更するなど柔軟に対応している。片付けなどできることを、利用者に協力してもらっている。食事は、音楽を聞きながら和やかに、利用者と職員と一緒に食べている。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	日々の記録に食事量・水分摂取量を記入し、状態の把握に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施し一人ひとりに合った歯ブラシ等を利用し清潔保持に努めています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日々の記録に排泄状況を記録し、排泄パターンの把握に努めています	排泄チェックシートにより、利用者一人ひとりのパターンを把握し、立位が取れる方はリハビリパンツにするなど、排泄の自立支援を介護計画に盛り込み、取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	プルーンヨーグルトや牛乳などを日々の食事に取り入れたり、日々の体操などにより便秘の予防に努めています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者様の希望に合わせて入浴して頂いている 個々に応じた入浴の支援や身体状況に合わせ機械浴等も利用して頂いております	週に2・3回、好きな時に入浴してもらっている。身体が汚れた時は、すぐに入浴をしている。入浴を好まない時は、清拭や足浴で対応している。菖蒲湯・ゆず湯など季節感を味わい楽しめるよう工夫をしている。	

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	その時々に応じて居間や和室のソファなどを利用して頂いております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤師さんとの連携により現在の利用者様の状況の共有を図り、服薬時には日々、名前等の声だし確認や服薬の見守りに努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食事の時間やお茶の時間などに利用者様の希望を聞くなどして日々の生活に活かせるように努めています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩やお弁当をもってお花見に出かけたり地域の方にも協力して頂きながら支援しています	利用者の希望にできるだけ沿うように、ボランティアや家族の協力を得ながら外出を支援している。天気の良い時は庭に出て外気浴をしている。年間の行事予定を立て、外出の機会をできるだけ多く設け、利用者は希望により参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の希望があれば本人のお小遣いで買うことを伝え、一緒に買い物に出かけたり、代行したりしています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望があれば御家族へ電話して頂いたり、ポストまで一緒に手紙を入れに行ったりしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	四季に応じた庭を構成したり、季節に応じた音楽を流したり、切り絵等を貼ったり工夫しています	季節の花をあちらこちらに飾り、訪問調査時は玄関にアロマの香りが漂っていた。居間は日当たりが良く、ゆったりとくつろげる空間になっており、段飾りの雛人形が飾られている。壁面には手作りの季節の装飾品が貼られ、行事の写真が貼り出されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	和室は常に開放しており、洗濯物をみんなで畳んだり一人でテレビを見たりと思いつきの空間として利用して頂いております		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人・家族の希望で仏壇や本棚を持ってきて頂いたりして、その人らしい空間作りに努めています	各居室の入口には、花の絵の名札が掛かっており、居室内は、タンスや鏡台、仏壇、テレビ、ぬいぐるみ等の使い慣れたものが様々に配置されている。それぞれの居室の窓からは、アカシヤの花やその他の木々が見える。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレ・居室等はわかりやすいように表示し声かけ、見守りにて出来るだけ自立した生活が送れるよう努めています		

グループホーム アカシヤの家

事業所名	グループホーム アカシヤの家
ユニット名	つきみそう

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念は玄関入口に掲示し、朝礼等で話し合い実践に努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	自治会に加入し、ゴミ当番・町内清掃・どんど焼き等に参加し事業所による納涼祭や餅つきに地域の方に参加して頂いている 地域からのボランティアの受け入れもしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所の行事等に参加して頂いたりしている時にお話等させて頂いてます		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	3ヶ月に一度運営推進会議を開催し利用者様へのサービスの実施や評価への取り組み状況についての報告や話し合いを行っている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	横浜市のグループホーム連絡協議会に加入し、日頃から連絡を密にとり、ケアサービスに取り組んでいる		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての研修を行い玄関の施錠を含めて身体拘束を行わない取り組みを行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待防止の研修を行い、職員の理解を深め、虐待が見過ごされないよう努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度等についての研修を持ち個々の必要性を関係者と話し合っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関しては重要事項説明書等、口頭で説明し御利用者様の不安や疑問をお聞きしできる事とできない事を説明している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入口の目につく場所に苦情相談窓口の説明を掲示し「言いたい放題BOX」を設置している		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼やカンファレンスで職員の意見交換や提案ができる		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談を管理者・本社の関係者と持ち職員のやりがい等を聞き、職場環境、条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりの力量を把握し法人内外の研修に参加したり、介護福祉士等よりアドバイスが受けられる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	交換研修を通じて交流できる機会を持っている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時、本人や御家族よりお話を聞き職員間で情報を共有し本人の安心を確保できるように努めている		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時十分な時間を取りお話を聞きしたり御家族との連絡をこまめにするように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人や家族等が入居時に必要としている支援の優先順位を話し合い本人、家族の了承を得て対応するように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	介護する側、される側と捉えず一緒に生活する者としての関係築きに努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	月に1回の手紙と必要に応じた電話連絡をしている。またホームへ御家族が来所された時は最近の入居者様の様子や出来事を話しています。又家族からの要望も聞いています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居者様の友人など手紙を出されたり、電話をかけたりにされています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の会話で聞きとりにくい利用者様に関しては職員が間に入り会話がスムーズに行えるように努めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用が終了しても気軽に遊びに来て頂いたりお話しに来所して頂いてる		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活や生活の記録の中でどのように過ごしたいかを利用者様の立場になりケアプランをたてている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個人ファイルを活用したり利用者様本人のお話で背景の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録を活用し一日の過ごし方や心身状態の把握に努めている		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	月に一度ケアカンファレンスを行い課題をあげ、どのようにケアに努めるか話し合いを実施している。 また評価を行いケアの統一に努めている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	言動や行動の事実を記録し、介護計画に役立てている、また申し送り・カンファレンスにて情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	心身の状況に応じて臨機応変な対応ができるように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	週1回のボランティアの受け入れ等により本人の能力を発見し地域の協力と理解を得られるよう努めています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人・御家族の希望を大切にし、かかりつけ医への受診・往診にて適切な医療が受けられるよう努めています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護師の来所時に朝礼等で情報の共有をしている。また指示が出た時もスタッフ間で情報の共有に努めています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者の入退院時は病院関係者と御家族様と共に情報交換に努めています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	定期的な往診から重度化した時のあり方について本人・御家族・医療関係者と共に持ち、事業所でできる事を説明し地域と共に支援できるように努めています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	利用者の急変や事故発生時に備えホーム内外の研修に参加し実践に努める		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ホーム内外の防災訓練に参加し地域との連携が図れるように努めている		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	命令口調にならない等入居者様の気分や表情を伺いながら言葉かけに努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己決定ができるような声かけやその場の表情にも気をつけて観察に努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員が業務におわれて決まりや都合を優先してしまう事がないように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	着替える時等、御本人に選択して頂けるように努めている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	配下膳が可能な利用者様は御自分で行って頂いている体調や気分によって調理、盛り付け等職員と一緒に頂くよう努めている		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量を記録し状況に応じて食事以外でも果物や食物を摂って頂けるよう努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後に口腔ケアを必要に応じて支援している。 夜のケア時、義歯洗浄剤を利用している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	利用者様の排泄パターンを知り、トイレ誘導・排泄介助を行うよう努めている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘の予防として水分摂取運動の促しに努め必要に応じて医療関係者と連携を取るよう努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	利用者様の体調や気分に合わせて入浴して頂くよう努めています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	昼食後の昼寝や居間でコーヒーを飲んだり休息の時間を設けている。適度な室温・湿度の調整にも努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤情報を個々の介護記録とともにファイルしてあり、いつでも確認できるようになっている 一包化で日付・記名されている必要な時間にお薬を渡せるように努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	食器洗い・洗濯・料理等職員と共に行って頂いており、入浴・散歩・ドライブ等気分転換を図って頂けるように努めています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	可能な限り、ドライブ・散歩等に出かけ、地域との連携を図り、御家族の協力も頂きながら外出の機会を増やせるよう努めている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様の希望に応じてほしい物はお小遣いより購入して頂いています 可能な限り職員同行で買い物に出かけられるよう努めています		

グループホーム アカシヤの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様からの要望があった場合、電話をかけて頂いたり、手紙を送ったりされています必要に応じて職員とポストまで手紙を出しに行っています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居間に季節に応じたディスプレイや各居室の適度な室温調整を行い必要に応じて加湿器を使用するよう努めています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホーム内や庭は自由に行き来できるように心がけ食事以外の時間は席を決めずに利用者様同士の関わりがもてるよう努めています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室内は“御自分の部屋”として使用して頂き、仏壇等なじみの物、昔から使っていた物を使用して頂き安心して過ごせるように努めています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	日々の生活の中よりできる事わかる事を見出し、見守りを行いながらできる事は御本人に行ってもらえるように努めています		

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム アカシヤの家

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 5 月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	現在1年に2回程度、防災訓練を行なっているが、職員の防災意識が低く、非常時の対応に不安を持っています。また、非常時に入居者様がどのように反応されるかの予測が難しい。	今後、年に数回の防災訓練を実施し、入居者様の反応を少しでも予測できるよう、また、それに対する職員の対応を日頃から考え、防災意識を高めたい。	地域の方に呼びかけを行い地域の方の協力をいただきながら、防災訓練に取り組みたい。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。